

算数オンライン塾 5月10日の問題 解説

(1)

最初は何が出ておかまいませんが、その次は最初に出た目と反対の渡し方の目でなければなりません。したがって1が出れば2、2が出れば1、と必ず1つ決まりますから、6通り。

(答え) 6通り

(2)

最初に1が出るとAからBに硬貨が1枚いきます。

次にこの1枚多い硬貨がBからCに行き、次にCからAに戻れば3回でみな、最初と同じになります。

したがって最初の目は何でも良く、次は1回目の目の渡し方に出てこない人に次がわたるので、1通りと決まり、2回目にもらった人は必ず最初の人にもどすので1通り。

したがって $6 \times 1 \times 1 = 6$ 通りです。

ただ、BからCに行くのが3回目でCからAに行くのが2回目でも良いので、 $6 \times 2 = 12$ 通りになります。

(答え) 12通り